

令和元年度第1回府中市地域公共交通活性化協議会 議事録

1 開催日時

令和元年5月27日（月） 午前10時00分～午前11時30分

2 開催場所

府中市役所4階 第一委員会室

3 出席者

（委員）

村上 明雄	西宮 達二	石原 完壽	
小林 一成（代）	渡邊 寛人	高山 俊宏	宮口 泰彦
横島 幸宏	丸橋 浩（代）	杉島 賢治	
上田 隆博	松田 学（代）	藤井 利佳	渡邊 一成

（事務局）

都市デザイン課長	日野 雄蔵	同主幹	能島 克則
同主査	信岡 知典	同主任主事	岡田 啓伸
同主事	山田 圭太		

4 欠席委員

中村 一夫

5 議事

- 第1号議案 平成30年度活動報告
- 第2号議案 平成30年度決算報告
- 第3号議案 令和元年度活動計画（案）
- 第4号議案 令和元年度予算（案）
- 第5号議案 令和元年度地域内フィーダー系統確保維持計画（案）

6 配布資料

- 資料1 府中市地域公共交通活性化協議会名簿／配席図
- 資料2 令和元年度第1回府中市地域公共交通活性化協議会—議案
- 資料3 令和元年度第1回府中市地域公共交通活性化協議会—資料
- 資料4 福塩線ワイン列車の旅チラシ

7 傍聴者

2人

8 議事の内容

○開会

○副市長挨拶

○配布資料の確認

【会長】

第1号議案の平成30年度の活動報告、第2号議案の平成30年度決算報告は関連する案件でございますので事務局から一括して説明いただいて、その後にご意見・ご質問をいただきたいと思っております。それでは事務局のほうから説明をお願いします。

【事務局】

○第1号・第2号議案の説明

○監査報告

【委員】

監査報告をいたします。平成30年度府中市地域公共交通活性化協議会の収支決算について、監査を行った結果、関係帳簿記載漏れなく適正に処理されていたので、これを報告いたします。

【会長】

ありがとうございました。それでは、ただいまの事務局の説明に対してご意見ご質問等ありましたらお願いいたします。

【委員】

30年度決算の事業費334,784円の内訳を知りたいのがひとつ。そして福塩線80周年記念イベントの結果としての成果、参加人数がいくら程いらっしまったのか。そういうところが知りたいと思いました。

【会長】

では、事務局より説明を。

【事務局】

まず一点目の30年度の歳出の事業費内訳について。まず10万は、昨年（平成30年度の）3月3日、上下町におきまして、福塩線の全線開通80周年記念イベントをJR西日本さんと行いました。本来は7月の末に開催される予定だったのですが、豪雨災害がおきまして長期にわたり運行できませんでした。その際に復興を含めて80周年記念を府中市の協議会でもお手伝いできることはないかと、矢野の神楽を駅前で開催させていただきました。あと先ほど触れましたぐるっとバスプレミアムフライデーのチラシを制作するのに187,800円利用しております。あとは12月に府中駅で開催させていただきました運行再開のセレモニー、花束等に事業費のほうを利用させていただきました。もう一点、80周年記念イベントの参加者は、すみません正確な人数は把握しておりません。確認をさせていただきたいと思います。

【会長】

よろしいでしょうか。

他はいかがでしょうか。それでは挙手による採決を行います。

平成30年度活動報告、平成30年度決算報告について、一括して採決を行います。ご承認される方は挙手をお願いします。

（委員同意）

賛成多数により可決されました。

それでは次に第3号議案令和元年度活動計画（案）、第4号議案令和元年度予算（案）について、こちらも関連案件ですので事務局から一括して説明していただき、ご意見ご質問をいただきたいと思います。それではお願いします。

【事務局】

○第3号議案 令和元年度活動計画（案）と第4号議案 令和元年度予算（案）の説明

【会長】

ありがとうございました。ただいまの説明に対し、ご意見ご質問等ございましたらお願いします。

【委員】

まだ府中市の交通状況を把握しておらず、皆さんご存知のことを聞くようでしたら失礼ですが、循環線について（質問があります）。ICカード対応にするということですが、府中市の中でのICカード設置の状況がどのくらいなのかと。それと網計画を見るとICカードの導入率が低く、これから伸ばしていこうというのでしょうか、今回は車両だけがIC化の対象なのか、他にもあるがここ（車両）を優先的にしようというのか、その考え方を教

えてください。

【会長】

では事務局をお願いします。

【事務局】

ぐるっとバスの左回りでICカードを設置すると申し上げましたが、バス車両だけでいえばICカードが未設置なのは、ぐるっとバスの左回りのみとなっております。府中市内のバス、中国バスさんの車両については読み取り機が全部ついていると認識しております。あわせて網計画のほうでタクシー車両にも導入していこうと考えています。ぐるっとバスに関しては運転手にヒアリングを行って来た中では六割ほどがICカードの利用者ではないかと仰っておりました。残り四割の利用者のためにICカードの利便性をご説明する機会があればと考えています。あわせてタクシーも機動性のある公共交通のひとつとして考えて、そのような導入にご協力いただきたいというところで、網計画に謳っています。

【委員】

もう一点だけ。(ぐるっとバス左まわりの)乗車定員を減らすのですが、現状乗りこぼしはないのか、一車両あたりの平均乗車数を教えてください。

【事務局】

今回定員を乗務員含めて13人から11人に減らしますが、一車当たり2.7人という数字になっております。実証実験開始時には地域の方にご協力いただいて満員に近い便もありましたが、現状はそこまで至っておりません。そのような中でまずは利便性の向上を図っていこうという狙いです。

【会長】

ありがとうございました。他はいかがでしょうか。

【委員】

今年度の取組み5番、効率的なバス路線の見直し検討の中に、二路線の循環型バス路線への見直しという話があったかと思います。生活交通については持続可能性が重要な観点かと思いますが、効率化によって何が図られる想定なのか、考えがあれば教えていただきたいと思います。収益の改善と自治体負担が改善されるのかという点も教えていただきたいです。

【会長】

はい、(事務局説明を)お願いします。

【事務局】

5番に関して、南宮台線は道の駅びんご府中から鶴飼駅を経由し、府中東高校や南宮台へ向かいます。一方の栗柄線は道の駅から市民病院経由で栗柄へと走っております。この二路線は比較的近接した場所を走っており、統合して循環型系統への転換を図るものです。現在は豪雨災害の影響で南宮台線が一部通行止めになっておりますが、開通の暁には南宮台線は一日10便、栗柄線が一日7、6便程度の運行本数ですので統合によって増やせると（考えております）。また、大きく回ることによって、行ける場所が大きく変わることはないかと思っております。ただし、商業施設など経路で希望があれば、地域住民の方と話し合っ行って場所を増やす等、今よりも利便性の向上が、便数を含めて可能であると考えております。

【会長】

よろしいでしょうか。

【委員】

追加でもう一点ほど。循環系統になった場合、一周でどのくらいの時間がかかるのでしょうか。

【事務局】

今後研究して参りたいと考えております。

【会長】

他はいかがでしょうか。

【委員】

ぐるっとバスの新規車両導入に向けた支援について、どのくらいの支援を予定されていらっしゃるのか、額が判れば具体的に教えていただきたい。これを支援する主体は府中市か協議会か、お聞かせいただきたい。それと交通系ICカードの取組みについて、キャッシュレスの波がやって来ていますが、交通系ICカードに特定してされるのか、それともクレジットやバーコード決済のQRコードにも対応されていくのか。複合的に考えていらっしゃるのかPASPYだけに限って考えていらっしゃるのか、お聞かせいただきたいと思ます。

【会長】

では事務局お願いします。

【事務局】

車両購入に向けた支援についてですが、大まかに改造費も含めて800万円ほどかかります。その中で府中市と国の補助金を利用させていただきまして、双方半額ずつ支援していきたいと考えております。

【委員】

二点目の交通系ICカードの関係について、少し感想を含めてになりますが、ICカードの取組みと運賃割引制度等が関連すると思っております。広島市内ですとPASPY、ICOCAだけでなく、全国の交通系カードが相互利用できる動きが既実現できつつあります。様々な路線の組み合わせ、フィーダー化等とか合わせて乗り継ぎ割引についても、割引券や現金による割引でなくてICカード系の決済（の方向）で。更には網形成計画の将来のテーマに掲げていますが「MaaS」のような運賃だけでなく宿泊予約や買い物含めてキャッシュレスで。また（委員）からありましたが入手不足の中で色々なサービス業関連もキャッシュレスになってきており、リードライナーにせよJR福塩線の神辺ー府中間にせよICカード未対応な府中が遅れてしまうのではないかという危機感があります。結果としてICカードがいいのか電子マネー系がいいのか、何らかの形で実現に向けて研究を深めていかねばならないと思っております。ただ、実際にどのツールが良いのか、搭載に当たって読み取り機のダウンサイジング化や初期投資に向けて事業者ベースなのか自治体主導なのか、その点を運輸局や広島県、事業者の皆さんを含めて意見交換をしなければいけないなど。このままでは府中が廃れていくだろうと思えます。住民の皆さんの利便性もさることながら、経済環境の観点からも整えていく必要があります。

合わせて交通業者だけでなく、網計画にも書いていますが、商店街等も含めました利用環境、交通の決済だけでなくお店でも使ってもらえるような環境整備が必要です。それをどうやっていけばいいのか、こういった場もお借りしながらご意見をいただければ、できる限り前向きに取り組んでいきたいと思っております。

【会長】

ご説明ありましたように、今年の実施計画の中には実施あるいは検討の項目が多くあります。これらの多くは必ずしも行政だけではなくて、交通事業者や地域の方々と連携しながら検討すべきものです。ぜひともその辺りはご協力をいただきたいと思う次第です。

他にご質問はいかがでしょうか。なければ私の方から。

活動計画の8番、交通結節点の環境整備について。現在作成中の「府中市グランドデザイン」とはどのような計画でいつ頃に作成される見込みなのか教えてください。

【事務局】

今まで府中市は中心市街地において整備を色々進めて参りました。府中学園に始まりまして、府中学園周辺のキテラスなどです。また道の駅を郊外型ではなく府中の場合は駅の近くに置き、交通結節点としてバス路線が極力道の駅を経由するように集約してきたところなんです。その次に、今まで整備したことを生かしながら、10年20年先、府中市の魅力を高めて府中駅周辺の整備をしていくのかという点を、府中市グランドデザインで描いていきたいと思っております。その中でハード整備だけでなく、府中市そのものを、府中市はかつては(備後国の)国府があった場所であり、国の史跡指定を受けているところでもあります。そのような歴史等を振り返りながら、今ある町並みを磨き上げながら、皆さんに選ばれる府中市を作っていけるか。それを設計図にしていきたいと考えて今年度グランドデザインを描いていこうと。その中で先ほどの駅周辺の整備を考えていこうとしているところです。

【会長】

これは行政計画の中ではどのような位置づけになるのでしょうか。

総合計画が一番上にあり、都市計画のマスタープランや立地適正など色々な計画があるかと思えます。そういう物との関連やどの辺りに位置づけるのか、われわれの議論になった綱計画の関連等、その辺りは議論されていますか。

【委員】

よその県市の例でいいますと、広島之都心活性化プラン、広島市と県が共同で策定したものやあるいは三原駅周辺含めた三原市のグランドデザイン、福山市の駅前再生ビジョン(があります)。これらは単に都市開発、建物の建て替えだけでなく、これから町の価値を高めていく上で何を生かし、新しい価値を盛り込んでいかなくはないか。その中ではハードだけでなく若い人、子供や女性などの人が集まるような仕掛け、都市空間(を作るのが必要になります)。更には単なる商業施設でないような投資や商売を呼び込む仕掛け、それを府中駅周辺から出口方面にかけて、それぞれのエリアごとの特色を分析しながらどういったものを誘導すればよいか、官民で取り組めばよいかを考えねばなりません。これらの設計図といえますか、理想像的なものを描きたいと思っております。

計画の位置づけとしましては、法律上の効果では都市マスタープランのほうが上でしょうが、10年20年スパンでは共通のテキストといえますか、そういったものを描けたらよいかと思っております。こうした中で交通だけでなく、道の駅周辺というのは天満屋も含めて人がここに集まるような仕組み、仕掛け、これの整備が喫緊の課題であります。更に南口を整備したとして北側との連携をいかにするか。来年再来年の話ではないでしょうが、5年10年先を考えたときに南北をどうするか。色々なところで議論しながらですね、単純な立て替え再開発ではなく、先進的な他市町の例を参考にしながら方向性を描ければと思って

おります。

【会長】

ありがとうございました。

【委員】

9番のノーマーカーデーのご説明がありましたが、具体的な地域、実施日、曜日などの想定が分かりましたら教えていただければありがたいです。

【会長】

では事務局をお願いします。

【事務局】

ノーマーカーデーについて、おおむね月に一度を想定しております。ただし具体的な曜日や日時については今はまだ決まっておられません。まずは府中市の全職員を対象に、実施していきたいと思います。ただし、ご存知のとおり府中市は公共交通の発展しない地域でございますので、そこは状況を見ながらできるところからスタートしたいと考えております。まずは市がやって今度は市内の企業など、ご協力をいただきたいと思います。

【会長】

他にご質問はありますか。無いようですので挙手による採決を行いたいと思います。

第3号議案令和元年度活動計画（案）、第4号議案令和元年度予算（案）について、一括して採決を行います。承認される方は挙手をお願いいたします。

（委員同意）

挙手多数で、可決します。第3号第4号議案の（案）を取り、これにて今年度の活動ならびに予算とさせていただきます。

次に第5号議案になります令和元年度地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について、事務局より説明をお願いいたします。

【事務局】

○令和元年度地域内フィーダー系統確保維持計画（案）についての説明

【会長】

ただ今の説明に対しましてご質問ご意見ありましたらお願いします。

一点確認したいのが、定量的な目標効果の現状値、平成30年度の値について。ぐるっと

バス右まわりは平成30年度事業報告の値が14,830(人)、今の資料が15,385人になっています。左回りは(実証実験を含む)と書いていますが実証実験は29年度ですよ。これらの数字の根拠を教えてください。

【事務局】

先ずは右まわり便ですが、事業報告に記載している延べ人数は4月から3月の人数となります。フィーダー系統の数値は平成29年の10月から30年の9月までの数値を記載しております。合わせて左まわり便の10月から3月というのは、申し訳ございません、記載ミスでございます。これも、29年の実証実験の中の数字から30年9月30日の数値を足したものとなります。

【会長】

要するに年度が通常と違って10月スタート9月終わりということですね。

はい。他はいかがでしょうか。

誤字などの確認については事務局で精査していただくとして、全体の方向性について挙手による採決を行いたいと思います。第5号議案令和元年度地域内フィーダー系統確保維持計画(案)をご承認いただける方は挙手をお願いします。

(委員同意)

賛成多数により、承認されました。第5号議案の(案)を取っていただいて、計画については確定いたします。誤字等の文言を確認して運輸支局にご提案申し上げる次第でございます。

以上で本日の議事を終了します。進行を事務局にお返しします。

○閉会